

もっと楽しく！もっと正しく！

葉山の海で遊びたい！



5歳のひなちゃんと、1歳のあおとくんを連れて一色海岸に遊びに来ていた小仲さん親子に、海での遊び方を聞きました！

「一色海岸には毎年子どもと一緒に遊びに来ています。森戸海岸や長者ヶ崎も行きましたが、子どもたちがきれいな砂で遊べる一色海岸がお気に入りです。海水が透き通っていてきれいだし、落ち着いた雰囲気です。」



5月27日には、森戸海岸で潮干狩り・稚魚放流など「海に親しむイベント」を開催しました。

ゆっくりと過ごしています。周りに小さい子ども連れが多いのも安心できるポイントですね。」

***ファミリエリア**

一色海岸と森戸海岸には、小さな子ども連れも安心して楽しめるファミリエリアを設けています。飲酒禁止エリアのため、ゆっくりと静かに海を楽しみたい家族向けです。是非ご利用ください。

葉山の海水浴場のマナーを確認！



入れ墨等の露出を控える・騒音禁止・遊泳区域内は火気禁止・ごみは持ち帰る・飲みすぎない



ヨットやシーカヤック、^{サップ}SUPなど、葉山では様々なマリンスポーツが楽しめます



海上保安庁より委嘱



海の安全推進アドバイザー 内田正洋さんに聞きました

人気のスポーツ

^{サップ}SUPを正しく楽しむために

穏やかに海上を散歩するスタンダードアップパドル(SUP)は、子どもから大人まで誰もが楽しめる人気のスポーツですが、漂流などの事故も多数起きています。簡単に始められるからこそ、事前練習で「両手を使ったパドルリングを身につけること」、また、自分の体力や技術レベルをしっかりと把握する必要があります。

※SUPのルールは町HPにも掲載しています

そして大切なことは「海から学ぶ姿勢」です。事前に天気予報や潮汐などを調べることはもちろん、海の雰囲気(海気)をしっかりと感じ、海のことを学びながら乗りましょう。その際に少しでも異変を感じたら浜へ戻るようにしてください。

NPO iPledge (アイプレッジ)
濱中聡史 事務局長



ごみを分別して きれいな海を守ろう

***海の家でごみを回収**
町内の海岸にごみ箱はありませんが、海水浴場開設期間は、海の家で有料回収をしています。金額は海の家に直接お聞きください(20リットル300円程度)。ビン・缶・ペットボトルの資源は、今年から無料で回収します。

***ボランティア募集!**
NPOアイプレッジは、森戸・一色海岸にごみ箱を置く日を設け、ごみ・資源の分別をお手伝いします。毎年10代20代を中心としたボランティアの皆さんが活躍し、「交流しながらの活動が楽しい」などの感想をいただいています。活動日は2、3ページのカレンダー、「ごみゼロ」でインターネット検索してください。葉山の海を守る活動にご協力



5月には「クリーン葉山」を行い、海開き前の海岸清掃をしました

葉山の海と言えどー！

近代日本 ヨット発祥の地



明治45年、慶應義塾の水泳部が森戸沖でヨットを帆走させたことから、葉山は「日本ヨット発祥の地」とされています。また、昭和39年の東京オリンピックでは、葉山港がヨット競技のサブ会場になりました。

2020年の東京オリンピックに向け、葉山のヨットマンを代表するお二人に話を聞きました！
(インタビュアーは大学ヨット部出身の町職員です)

政策課 笠井 佐藤



▲昨年3月にリビエラリゾートと町が共催でヨット乗船体験を実施

笠井 大庭さんにとって葉山の海の思い出は？

大庭 中学時代は海で泳いだり、船で名島に行ったりして遊びました。高校からはヨット部で葉山港や森戸海岸で練習しましたね。今でも沖から葉山の町並みを眺め、いつまでも変わらない山の形にほっとします。

笠井 葉山にヨットマンが多いのはなぜですか？

大庭 葉山の海は、名島があることで波が穏やかなんです。そのため、入り江はヨット初心者を楽しめる場所です。一方名島

を越えると海の色が深い青に変わり、波も大きくなるので、ヨットに慣れている人も楽しめます。このように、葉山の海は色々な表情、遊び場を持つため、多くの人が楽しめるんですよ。



葉山港 大庭 秀夫 所長
(株式会社リビエラリゾート)

笠井 オリンピックまであと3年ですね！

大庭 ヨットは浜から競技が見えづらいのですが、テレビなどで見る機会が増えれば、多くの人が興味を持ってくれるのではないのでしょうか。オリンピックをきっかけに、「ヨット発祥の地・葉山」でセーリングがさらに盛り上がるように、町や市民の皆さんと協力していきたいと思っています。

葉山町セーリング協会
井上 義朗 会長



笠井 葉山町セーリング協会では、ジュニアヨットスクール運営のほか、バリアフリーヨット大会や海の学校など、町と共催してイベントを開催されていますよね。

井上 ジュニアヨットスクールは平成3年に「ヨット発祥の地からオリンピック選手を！」という気持ちで立ち上げました。現在は小学3年から高校3年生までの55人が在籍し、未来のオリンピックを目指して、日々の練習に励んでいます。卒業生から東京オリンピックの選手が出たら嬉しいですね。

笠井 ヨット競技観戦の楽しみ方とは？

井上 まず、スタート地点できれいに並んだヨットを見ることですね。そこからヨットは一直線に並ばず、バラバラに走るのので、1位を予想しながら観戦するのが面白いんですよ。

笠井 全国のヨットハーバーと比べて葉山の海はどう違いますか？

井上 東京湾やヨットハーバーが有名な西宮と比べても、葉山は水質も景観もきれい！専門的に言うと、風の吹くパターンが一定していて、動きを予想しやすく走りやすいこととか、時々潮の流れが強くて、それを読みながら走るのが面白いこともありますね

笠井 ヨット発祥の地には、理由があったんですね。勉強になりました！



毎年人気の教室「HAYAMA海の学校」
でヨットの説明をする井上さん▶



協力者を募集しています

ヨット乗船体験

町民3万3千人が
ヨットに親しむ町へ

2020年の東京オリンピックまで、すべての町民から「一度はヨットに乗ったことがある」と言ってもらえるよう、町ではヨットを通じた地域振興に取り組んでいます。

より多くの皆さんにヨット乗船を体験してもらうためには、体験の機会をつくってくれる団体などの協力が必要です。

■助成金のご案内

ヨット乗船体験の機会をつくってくれる団体に、最大3万円の助成金を交付します。

【事業の主な条件】

- ①対象が町在住の勤者
- ②広く一般から募集する
- ③町が教育委員会が後援
- ④20人以上を募集

【助成金の交付申請】

事業実施日の30日前までに、事業計画書等を提出してください。

※詳細は町HPから「ヨット乗船体験」と検索してご覧ください

問合せ 生涯学習課

☎内線7231

